

10/20 九都県市合同防災訓練・防災フェア  
埼玉県との「基本協定」「物資協定」にもとづき、防災フェアに参加しました



第45回九都県市合同防災訓練(埼玉県会場)が日高市総合公園で行われ、消防、警察、自衛隊、九都県市、防災関係機関、医療機関、災害時応援協定締結事業者、自主防災組織などが連携して、訓練を行いました。埼玉県と埼玉県生協連、埼玉県とコープみらいが締結している「基本協定」「物資協定」にもとづき、訓練に参加し、今回で24回目の参加となりました。防災フェアでは、災害対策委員会メンバーを中心に、救援物資配布訓練を、コープみらいのブースでは、防災クイズを実施しました。

10/27 コープみらいフェスタ in  
さいたまスーパーアリーナ  
宅配アンケート、消費者被害  
アンケート・めやすばこに取り組みました



宅配の受け取りについて、シールアンケートを実施

アンケート・めやすばこでは、お金についてお聞きしました

さいたまスーパーアリーナ(さいたま市中央区新都心)で開催されたコープみらいフェスタに出展しました。ブースでは、会員生協の紹介や主な取り組みのパネル展示、宅配便の受け取りに関するシールアンケートや宅配BOXの展示と説明、埼玉消費者被害をなくす会の活動委員会による消費者被害アンケート・めやすばこの調査活動を行いました。

11/8 令和6年度  
埼玉県消費生活功労者  
表彰式  
会員生協から2人が表彰されました



埼玉県消費生活功労者表彰式が埼玉県知事公館で行われ、消費者団体や消費生活協同組合の活動を通して消費者の利益のために取り組んでこられた11人の方が表彰されました。今年度、埼玉県生協連会員生協からは、渡邊英里子さん(生活協同組合コープみらい)、熊崎伸さん(コープデリ生活協同組合連合会)の2人が受賞しました。

11/21 2025国際協同組合年埼玉実行委員会発足式・記念講演会  
県内47の協同組合・協同組織の参加で発足しました



坂本共同代表によるあいさつ

ご来賓の大野元裕埼玉県知事

ご来賓のJCA比嘉政浩専務



記念講演

来年の「2025国際協同組合年」に向けて、埼玉実行委員会が発足し、実行委員会の共同代表には、JA埼玉県中央会坂本富雄会長と埼玉県生協連吉川尚彦会長理事が選任されました。発足式では、共同代表の坂本富雄さんのあいさつに続いて、来賓の大野元裕埼玉県知事からご祝辞をいただきました。記念講演会には、約80人が参加、日本協同組合連携機構(JCA)比嘉政浩専務理事が「2025年、協同組合年がもうすぐ、やってくる。協同組合の価値、求められる役割とは」をテーマに講演されました。行動提起として「学び・実践・発信」を挙げ、「2025国際協同組合年をきっかけに実践してほしい」と強調されました。

SAITAMA  
2025 冬号  
No.92  
(2025年1月発行)

県内生協の活動を写真で伝える情報誌  
写真ニュース



Top News

10/17 第60回埼玉県消費者大会  
全体会に440人、午後2つの分科会に210人が  
参加、今年もハイブリッドで開催しました



実行委員会団体紹介



大野元裕知事によるごあいさつ



記念講演講師 上野千鶴子さん



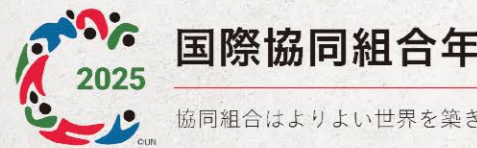
食と健康分科会

「誰ひとり取り残さない社会を目指して ~わたしたち消費者の行動が未来をきめる~」を大会スローガンに、埼玉会館およびオンラインで開催されました。開会にあたり、20の実行委員会団体の紹介、実行委員会を代表して内田典子実行委員長のおあいさつがあり、今大会は60回という記念すべき大会であり、60年を振り返るビデオの紹介とともに、この60年は、その時々の実行委員会の頑張りが今日の大会につながっており、先人たちに感謝したい、また、数年前、コロナ禍で集まることがままならない中でも話し合いながら、初めてYouTube配信にチャレンジし、歩みを止めることなく開催してきたと振り返りました。来賓の大野元裕埼玉県知事からごあいさついただき、次に、60年の埼玉県消費者大会の歩みを振り返るスライドを視聴いただきました。記念講演では、認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長、東京大学名誉教授の上野千鶴子さんに、「いくつかになってもわたしらしく生きる」と題して、講演いただきました。午後の「食と健康」分科会は、「サプリメント(健康食品)で健康になるの? ~機能性表示食品での重大事故を受けて~」をテーマに、3人の助言者から報告いただき、意見交換しました。「環境とくらし・農業」分科会では、「循環型社会の実現に向けて ~江戸のくらしを今に活かす~」をテーマに、助言者と実践報告、会場参加者からの報告のち、質疑応答、意見交換しました。分科会は、会議室とZoomのハイブリッドで行いました。

11/28 第60回埼玉県消費者大会実行委員会と埼玉県との懇談会  
実行委員会で話し合った要請書に基づき、懇談しました



埼玉会館会議室にて、第60回埼玉県消費者大会で確認された「埼玉県への要請書」に関して、実行委員会からは、14団体23人、埼玉県からは20人が出席し、懇談しました。懇談では要請書のうち12項目について県の担当部局より口頭で回答があり、それを受けて、要請項目の理解を深める発言や、質疑応答をおこないました。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



写真ニュース  
バックナンバーは  
こちら



埼玉県生協連  
ホームページは  
こちら

CO-OP 埼玉県生活協同組合連合会





## 生活協同組合コープみらい



### 「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」を開催しました



「『ともに』つくる 笑顔のみらい」を合い言葉に組合員が楽しく学べるブースを出展

10月27日(日)、さいたまスーパーアリーナで『健康フェスタ』(主催:医療生協さいたま生活協同組合)、『国際フェア』(主催:(公財)埼玉県国際交流協会)と同時開催し、約2万5千人の組合員をはじめ、多くの方に来場いただくなか、堀光敦史埼玉県副知事に来賓としてお越しいただきました。会場では160を超える団体が出展し、取引先約60社による試食・販売や食の体験企画、組合員の取り組みやステージなどをお楽しみいただきました。

## 生活協同組合パルシステム埼玉



### 商品の魅力 新発見! 商品展示会を開催



笑顔あふれる展示会になりました

11月9日(土)にさいたまスーパーアリーナで、商品展示会を開催しました。組合員とその家族や友人の方が、午前の部・午後の部あわせて1,109人が来場し、多くの人で賑わいました。参加者たちは30を超える出展ブースにて、生産者やメーカーの担当者と直接交流することで、商品の新たな魅力に気づき、より身近に感じられる機会となりました。また、フードドライブ以外に今年度は新たに児童書・ミニカーの寄付を募り、多くの方にご協力いただきました。連携する団体を通じて、絵本などにふれあう機会の少ない子どもたちにお渡しします。

## 生活クラブ生活協同組合



### 生活クラブ埼玉50周年記念「つながる生き活きまつり」開催!



当日は約1500人の来場があり大盛況!



60の生産者をはじめ、地域団体も合わせ約80団体が出展

今年度は50周年の節目の年。11月9日(土)に、記念イベントを開催しました。日ごろから生産者交流会や見学会でつながりを深めた生産者から、消費材のおいしい食べ方を聞いたり、市販品との違いを聞いたり、さらにたくさんの交流ができました。大抽選会で当選した人からは「51周年も楽しみ」とのうれしいコメントも。記念事業では、6つの消費材開発と記念誌作りも進めています!生活クラブが今後もさらに50年続きますよう、これからも合言葉は「つながろう つなげよう!」。

## 医療生協さいたま生活協同組合



### 浦和民主診療所で「60周年健康まつり」

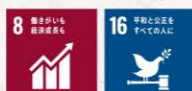


自治会からの紹介で、パルーンアートの名人が登場 楽しませてくれました

検査技師のお仕事体験 顕微鏡をのぞいてワクワク!

医療生協さいたま浦和民主診療所は11月に60周年を迎え、10月6日(日)、『60周年健康まつり』を開催しました。組合員と職員が運営・企画を協力して行い、当日は地域の方が約500人参加。組合員支部や近隣の就労支援施設などによる出店が、まつりを盛り上げてくれました。子どもに人気だったのは検査技師や薬剤師などの「お仕事体験」。親子連れの行列がで、次は「次はこれやりたい!」「楽しかった!」と賑わいました。これからも地域に頼られる診療所をめざします。

## 埼玉県勤労者生活協同組合



### 東日本大震災復興支援「ひまわりプロジェクト」に協力しました



今年もきれいに咲きました

福島県で活動されているNPO法人シャロームによる「ひまわりプロジェクト」に参加しています。「ひまわりプロジェクト」は、全国から集まったひまわりの種を、障がい者の方が搾油し全国に販売することにより、福島県の復興支援につながる活動です。鳥や虫の被害に加え、連日の猛暑の影響で今年のはまわりの種は全体的に小さめでしたが、集まったひまわりの種15kgを福島へ送ることができました。今後も活動を通じて福島と交流を持ち、復興支援に参加していきます。

## さいたま住宅生活協同組合



### 「無料住宅診断」を実施しています



専門家が診断中

毎年、希望する組合員のお宅を一級建築士が訪問して19項目にわたる住まいのチェックを行う「無料住宅診断」を実施しています。今年度は約250件の依頼がありますが、近年、住宅に関する飛び込み営業で、住まいに関する不安を煽られる事例が多発しており、信頼できる専門家によるチェックで「安心した」という声が寄せられています。

## こくみん共済 coop<全労済>



### 創立60周年記念セミナーを開催しました



あいさつする金井浩本部長

2024年3月11日に創立60周年を迎えたことを記念し、10月1日(火)に「埼玉労済創立60周年記念 こくみん共済 coop<全労済>セミナー」を開催しました。当日は86団体138人(集合参加56団体83人、オンライン視聴37団体55人)参加のもと、青山学院大学教授の原 晋氏を講師にお招きし、「『箱根駅伝』から学ぶ成長する為の秘訣~より良い組織づくりがより良い人材を育てる~」をテーマに講演いただきました。参加者からは今後の社会活動、組織活動に大いに参考になるとの感想が寄せられました。

## 生活協同組合・さいたま高齢協



### 地域福祉事業所「小林さん家(ち)」で秋バザール



有機野菜販売中

前日のサツマイモ掘り

三郷市で空き家を活用し、地域の交流の場、介護予防サロンなどを行っている「小林さん家(ち)」では、11月17日(日)に秋バザールを開催しました。前日には、サツマイモ、里芋、山芋などの収穫作業をスタッフで行いました。そして当日は、有機野菜、おからドーナツ、陶器、手作りの小物などの販売を行いました。今回が3回目のバザールでしたが、来場者が少しずつ増えてきました。